

平成22年度決算を認定

担い手農地集積高度化促進事業
補助金返還問題に質疑集中!!

平成22年度一般会計、各特別会計及び企業会計決算を審査する特別委員会は、9月15日、16日の2日間開かれ、各決算を審査し、活発な質疑・応答の結果、いずれも異議なく、認定すべきものと決まりました。委員会での主な議論は次のとおり。

一般会計

質問 コンビニ収納の利用率は。

答弁 市県民税は一八％、固定資産税は二五％、軽自動車税は一八・七％、入湯税は三六・七％です。

質問 防犯灯及び街路灯の設置状況と、省エネ電球への転換は。

答弁 防犯灯は約二千三百灯、街路灯は約七千灯設置しています。防犯灯はエバーライトという省エネタイプへの切り替えを行っています。

質問 社会福祉協議会の積立金が徐々に増えているので、人件費としての補助金は必要ないのではないか。

答弁 退職金の積立金を市で減額して、社会福祉協議会でその分を増やすなど、基金を有効活用して市の負担を減らすよう協議しています。

質問 資源集団回収事業奨励金が前年と比較して半額以下になっているが、その原因は。

答弁 少子高齢化に伴う資源集団回収団体の構成員の減少が大きな原因と考えています。

質問 担い手農地集積高度化促進事業に参加した二十五団体全部が補助金返還となっているが、市から誤った指導があったのではないか。

答弁 補助事業要件から外れるような説明はしていないと思っています。個々の組合には複雑な事情があるため、市の説明だけが原因ではなかったととらえています。

質問 農家救済のため、農家が負担した分担金を市で肩代わりする考えは。

答弁 契約内容が履行されていないことが原因で、税金を投入して救済することはなじまないと考えています。今後何らかの支援をし

ていかなければならないと考えています。

質問 甲東中学校の校門から玄関までの舗装は、百万円から二百万円くらいの予算でできると聞くが、舗装する考えは。

答弁 その予算での舗装施工は、本格的なアスファルト舗装にはならないので、厚さ、耐用年数的にも問題があるため、砂利敷きで対応したいと考えています。



甲東中学校玄関までの道路

特別会計

質問 後期高齢者医療事業で、保険料未納により保険証が交付されていない件数は。

答弁 保険証、短期保険証など、すべての対象者に交付されています。

企業会計

質問 水道の基本料金は同程度の市町村と比較してどうか。

答弁 比較しても高くはありません。県内市町村でも基本料金に十トン付与していますが、これは市民生活を営む上で最低限必要な水量と認定しています。

質問 現時点での配水管の耐震率は。

答弁 耐震化率は四〇％です。今後マッピングシステムのデータをもとに順次耐震化に努めたいと考えています。

質問 昨年導入した給水車が今回の震災で役立つが、今後を踏まえ、給水車を増車する考えは。

答弁 今後ほかの給水車、タンクをかんがみ、防災計画の見直しの中で



県防災訓練で活動する給水車

質問 下水道本管への未接続者の対応は。

答弁 三年経過しても未接続の場合は罰則規定がありません。しかし、経済的なものを考慮して執行していないのが現状です。

質問 病院事業での業務委託の見直しの考えは。

答弁 平成二十三年度に人数減員等により委託費を約三千万円下げています。委託には有資格者の要件もあることから若干高めになっています。